

国家的・広域的な課題

■ 道北地域は、人口減少・高齢化率が全道平均よりも高い割合で推移し、後継者や担い手不足が一層顕在化している状況です。さらに感染症の影響により外国人労働力に依存する生産体制のリスクが顕在化しています。生産空間を維持し、我が国の食料供給基地として貢献していくためには、農地・農業用水の確保、水産資源の回復・管理、漁場整備、後継者・担い手の確保・育成、スマート農業等、我が国の食料安全保障を支えるイノベーションの加速による農水産業の振興、「食」の高付加価値化と総合拠点づくりを進め、北海道の高品質な農水産品や食品の輸出を一層促進し、地域内で持続可能な農水産業を構築する必要があります。また、地域内外の交流・協働を促進し、人口減少をカバーするとともに、多様な人材との対流をひき起こし、効率的・利便性の高い物流ネットワークの形成、ポストコロナを見据えた産業立地・振興を促進して、価値創造力を強化する必要があります。

プロジェクトの概要

上川地域は水稻や野菜類を主体に多様な作物が栽培され、全国的に流通しています。しかし、上川地域の農業経営は、ほ場の区画が比較的小さいことや泥炭地に代表される排水不良、水利施設の老朽化により生産性が低く、更に担い手不足問題などにより安定的なものとはなっていません。このことから、ほ場の大区画化と併せ農地利用集積や水利施設のストックマネジメント、イノベーションの活用等によって農業経営の安定化と生産性の向上を図り、米や野菜等食料供給力の向上、産地加工を推進し、持続可能な力強い農業の実現を目指します。

主な取組

- 農産物の生産性向上
 - ・GPS自動走行システム等、ICT技術を活用した大型農作業機械の導入するスマート農業を推進することにより、生産コストの低減、高品質生産、担い手への農地の利用集積を促進します。
 - ・土壌改良と排水不良を改善し、農地の有効活用のための汎用化、土地生産性の向上、農業生産額の拡大を図ります。
 - ・基幹的な農業水利施設の戦略的な保全管理を進め、施設の長寿命化やライフサイクルコスト低減を図ります。
 - ・ほ場の大区画化や水路のパイプライン化、地下水位制御システム等の技術を導入し、作業効率の向上や水管理の省力化を通じて、維持管理労力の低減につなげます。
- 農産物・食品輸送の効率化推進
 - ・スピーディーな物流を実現させ、農産物の産地加工を促進する高速交通ネットワーク整備の推進
 - ・安全・確実に農産物を供給するための道路整備の推進
 - ・物流システム構築に向けた取組の推進（名寄周辺モデル地域）

令和7年度(5年後)の目標

【農業】・国営かんがい排水事業（当麻永山用水地区、幌加内地区）の完了と（共栄近文二期地区）の実施、国営農地再編整備事業（上士別地区）の完了、国営施設機能保全事業（風連地区）の完了、国営施設応急対策事業（てしおがわ剣和地区）の完了と（鳥沼宇文地区）の実施、国営緊急農地再編整備事業（北野地区）の完了と（愛別地区、大雪東川第一地区、旭東東神楽地区、大雪東川第二地区、旭東地区）の実施により、生産性の高い農業基盤の確保と、効率的な農業経営の維持を図ります。

地域のめざす姿(令和7年の地域の将来像)

■ 地域特性を活かした産業振興

連携地域の主な施策の方向(今後5年程度)

- ・基幹産業である農林水産業における生産基盤の強化と安定供給、より効率的で高品質な生産の推進
- ・地域産業における多様な担い手と人材が活躍できる環境づくり
- ・地域の特色ある農林水産物のブランド力の強化や6次産業化など産業間連携の展開、国内外への販路拡大
- ・産学官金の連携による産業の創出・育成
- ・地域資源を活かした企業立地の促進
- ・ロシア極東との経済・文化交流の推進
- ・建設産業の経営力強化などの促進

令和3年度の具体的な施策内容(旭川開発建設部管内)

- 【農業】・国営かんがい排水事業（当麻永山用水地区、共栄近文二期地区、幌加内地区(札幌開建)）
- ・国営農地再編整備事業（上士別地区）
 - ・国営施設機能保全事業（風連地区）
 - ・国営緊急農地再編整備事業（北野地区、愛別地区、大雪東川第一地区、旭東東神楽地区、大雪東川第二地区、旭東地区）
 - ・国営施設応急対策事業（てしおがわ剣和地区、鳥沼宇文地区）
- 【期待される効果】
農業用水の安定供給と維持管理の軽減を図り、生産性の高い農業基盤を確保するとともに、ほ場の大区画化により集落営農等による効果的な農業経営が期待されます。
- 【道路】・北海道縦貫自動車道（士別剣淵～名寄）
- ・旭川十勝道路（富良野北道路）
 - ・国道40号音威子府バイパス
 - ・「道の駅」を活用した物流効率化の取組
- 【期待される効果】
輸送の効率化及び定時制が保たれ、農作物の安定的供給が確保されることが期待されます。

【道路】・北海道縦貫自動車道（士別剣淵～名寄）の推進

- ・旭川十勝道路（富良野北道路）の推進
- ・国道40号音威子府バイパスの推進（R7全線開通予定）
- ・「道の駅」を活用した物流効率化の取組の推進

国家的・広域的な課題

■ 道北地域は、人口減少・高齢化率が全道平均よりも高い割合で推移し、後継者や担い手不足が一層顕在化している状況です。さらに感染症の影響により外国人労働力に依存する生産体制のリスクが顕在化しています。生産空間を維持し、我が国の食料供給基地として貢献していくためには、農地・農業用水の確保、水産資源の回復・管理、漁場整備、後継者・担い手の確保・育成、スマート農業等、我が国の食料安全保障を支えるイノベーションの加速による農水産業の振興、「食」の高付加価値化と総合拠点づくりを進め、北海道の高品質な農水産品や食品の輸出を一層促進し、地域内で持続可能な農水産業を構築する必要があります。また、地域内外の交流・協働を促進し、人口減少をカバーするとともに、多様な人材との対流をひき起こし、効率的・利便性の高い物流ネットワークの形成、ポストコロナを見据えた産業立地・振興を促進して、価値創造力を強化する必要があります。

■ 北海道は、長い海岸線を有する北の国境地帯として、我が国の領域及び海洋権益の保全に重要な地域です。特に、道北地方や離島地域といった国境周辺地域については、有人国境離島地域に係る関係法令等の趣旨を踏まえ、産業の振興や生活条件の改善を通じて、定住の促進等を図ることが重要です。離島地域については、本土への安定的なアクセスを確保し、交流を促進するため、離島振興計画に基づき、航路の維持及び港湾の整備を推進するとともに、観光の推進や産業の育成、安全・安心な定住条件の整備強化等を支援することが必要です。

プロジェクトの概要

人口減少による後継者や担い手不足が一層顕在化する中、我が国の食料安全保障及び地域の主要産業である農林水産業や食関連産業を営む「生産空間」の維持発展に向けて、広大な土地を活かした農業と多種多様で恵まれた水産資源を活かし、さらにロボット、AI、IoT等の活用によるイノベーションを加速させ、良好な営農条件を備えた農地・農業用水の確保、水産資源生産力の向上、ポスト・コロナを見据えた産業振興を促進する物流ネットワークの強化等を図ることにより、高品質で安全・安心な食料供給力の強化を目指します。

主な取組

- 農産物の安定供給の推進
 - ・泥炭土に起因する地盤沈下の進行による湛水被害の解消等により、安全・安心な牛乳や畜産物の安定供給に向け、省力化や低コスト化を図ります。
 - ・農地の大区画化及び排水不良等の解消により、良好な営農条件を備えた農地の確保と農作業効率の向上を目指すとともに、農地の集積集団化や営農の組織化、先端技術を活用したスマート農業の導入により、地域ぐるみで収益性を向上させる取組を促進します。
 - ・老朽化が進行する農業水利施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を図るため、農業水利施設の戦略的な保全管理を推進します。
 - ・集中豪雨の増加や大規模災害の発生等、災害リスクの高まりに対応するため、農業水利施設の耐震化や「流域治水」の考え方に基づき事前防災対策（流域治水プロジェクトの推進）等を推進します。
- 水産物の品質向上
 - ・衛生管理対策や流通機能の高度化・効率化に資する施設の整備を進め、安全・安心な水産物の安定供給及び輸出促進を図ります。
 - ・離島漁港等の整備を推進し、離島水産業の振興により地域活性化を図ります。
 - ・海からの強風を遮る防風施設を整備し、荷揚げの安全性向上と水産物の品質向上を図ります。
 - ・産学官連携による留萌管内のナマコ資源活性化の取組を進めます（ナマコ資源活性化PF）。
- 物流ネットワークの充実
 - ・安定及び定時性が確保された輸送により、高鮮度の食材提供を図るため、高規格道路等のアクセスの強化、物流拠点である港湾、空港の機能強化と、これらを結ぶ広域的な物流ネットワークの整備を推進します。

地域のめざす姿（令和7年の地域の将来像）

- 地域特性を活かした産業振興
- 離島地域の振興

連携地域の主な施策の方向（今後5年程度）

- ・基幹産業である農林水産業における生産基盤の強化と安定供給、より効率的で高品質な生産の推進
- ・地域産業における多様な担い手と人材が活躍できる環境づくり
- ・地域の特色ある農林水産物のブランド力の強化や6次産業化など産業間連携の展開、国内外への販路拡大
- ・産学官金の連携による産業の創出・育成
- ・地域資源を活かした企業立地の促進
- ・ロシア極東との経済・文化交流の推進
- ・建設産業の経営力強化などの促進
- ・領海や排他的経済水域の保全など、国家的な役割を踏まえた離島地域社会の維持
- ・基幹産業である水産業や観光産業の振興
- ・医療体制や交通・情報通信基盤の整備など安全・安心な離島生活の確保

令和3年度の具体的な施策内容

- 【農業】
 - ・国営総合農地防災事業（機能低下が生じた農業用排水路及び農用地の機能回復）（産土地区・勇知地区・ポロ沼地区・幌延地区）
 - ・国営農地再編事業（ほ場の大区画化と排水不良解消）（東宗谷地区）
 - ・農業用基幹水利施設の長寿命化のための機能診断
- 【漁港】
 - ・漁船航行の安全性向上のための航路・泊地の水深確保、防波堤・防風柵等の整備（苫前・遠別・東浦・抜海・礼文西漁港）
 - ・漁獲物の品質向上及び衛生管理のための岸壁等の整備（東浦漁港）
 - ・漁港施設の長寿命化のための岸壁・防波堤の補修（東浦・抜海・仙法志漁港）
 - ・漁港内での稚ナマコ中間育成の実用化に向けた調査の実施（苫前漁港）
- 【港湾】
 - ・港湾物流の効率化及び安全性向上のための防波堤・物揚場・岸壁等の整備（留萌港・増毛港・羽幌港・天塩港・稚内港・宗谷港・枝幸港・鴛泊港・杓形港・香深港）
 - ・水産物流の効率化のための小型船だまりの整備（増毛港・羽幌港）
 - ・農水産物輸出促進のための屋根付き岸壁の整備（増毛港、枝幸港）
- 【道路】
 - ・物流ネットワークの安定及び定時性確保のための基幹的ネットワークの整備（国道40号天塩防災、国道232号小平防災、国道232号高砂橋架替、国道239号霧立防災、国道238号浜猿防災、国道238号幌別橋架替）

令和7年度（5年後）の目標

- 【農業】
 - ・国営総合農地防災事業（産土地区・ポロ沼地区・勇知地区・幌延地区）の推進
 - ・国営農地再編整備事業（東宗谷地区）の推進
 - ・農業用基幹水利施設の長寿命化のための機能診断
- 【港湾】
 - ・港湾物流の効率化及び安全性向上のための防波堤等の整備の推進（留萌港、増毛港（小型船だまり整備はR3完了）、天塩港）
 - ・農水産物輸出促進のための屋根付き岸壁の整備（増毛港（R3完了）、枝幸港）
 - ・小型船溜まり整備の推進（羽幌港）
 - ・第一副港地区岸壁老朽化対策事業及び北防波堤ドーム予防保全事業の推進（稚内港）
 - ・物揚場整備事業の推進（宗谷港）
 - ・防波堤及び物揚場老朽化対策事業の推進（枝幸港）
 - ・物揚場老朽化対策事業の推進（鴛泊港）
 - ・防波堤整備事業の推進（香深港）

- 【漁港】
 - ・漁船航行の安全性向上のため防波堤等の整備推進（苫前漁港・遠別漁港・雄冬漁港）
 - ・岸壁（衛生管理型）の整備推進（東浦漁港）
 - ・防波堤の整備推進（R4完了予定）（抜海漁港）
 - ・防波堤、岸壁の整備推進（礼文西漁港）
 - ・防波堤、護岸の長寿命化対策のための補修工事の推進（仙法志漁港）

- 【道路】
 - ・国道40号天塩防災の推進（R5部分開通予定）
 - ・国道232号小平防災の推進
 - ・国道232号高砂橋架替の推進（R5全線開通予定）
 - ・国道239号霧立防災の推進（R4部分開通予定）
 - ・国道238号浜猿防災の推進（R4、R6部分開通予定）
 - ・国道238号幌別橋架替の推進

国家的・広域的な課題

■ 大雪山、利尻・礼文・サロベツ国立公園、暑寒別天売焼尻国定公園や天塩川、層雲峡、日本海オロロンライン、富良野・美瑛など世界に誇れる豊かな自然環境や景観、多種多様な農水産物に恵まれた地域ですが、観光地が広域的に分散していることから、北海道7空港一括運営を活用し交通拠点との連結、軌道系アクセス新設等により観光拠点間のアクセスを向上させて観光地を周遊しやすい環境を整備するとともに、国内外の感染症の状況を見極め、需要を喚起しつつ広域的な連携を進めて、サイクルツーリズム、体験・滞在型観光、一度は訪れてみたい「聖地」づくりなど、地域の資源・特性を活かした多様な観光メニューの充実を図り、国内旅行とインバウンドの両輪により、持続可能で魅力的な世界水準の観光地域づくりを進める必要があります。また、地域に隣接するロシア連邦サハリン州、東南アジアとの観光経済交流を更に進める必要があります。

■ 北海道は、長い海岸線を有する北の国境地域として、我が国の領域及び海洋権益の保全に重要な地域です。特に、道北地方や離島地域といった国境周辺地域については、有人国境離島地域に係る関係法令等の趣旨を踏まえ、産業の振興や生活条件の改善を通じて、定住の促進を図ることが重要です。離島地域については、本土への安定的なアクセスを確保し、交流を促進するため、離島振興計画に基づき、航路の維持及び港湾の整備を推進するとともに、観光の推進や産業の育成、安全・安心な定住条件の整備強化等を支援することが必要です。

プロジェクトの概要

地域の交流及び関係人口を更に増やし地域の活性化を図るため、北海道横断自動車道に繋がる道北地域の幹線道路ネットワーク整備等の推進及び地域内のアクセス性の向上を図るとともに、道北地域一帯を巡る観光ルートの開発に繋がる観光振興に配慮した基盤整備を行い、地域資源を最大限活用して、地域全体が広域的に連携した魅力と競争力ある観光地づくりを進め、国内外の新たな観光需要を取り込み、リピーターを増やし、観光客を北へ誘導する仕組みづくりを促進します。

主な取組

- 広域周遊型観光の促進
 - ・観光地へのアクセスや観光地間の周遊の利便性向上のためのゲートウェイ（空港、港湾）機能、サハリン州との交流促進のための空港機能、ネットワーク（高規格道路網等）機能の強化や整備
- 観光資源の保護、育成
 - ・世界的に価値ある自然資源としてのサロベツ原野の保全、再生
 - ・北海道遺産である天塩川における環境整備の推進
- 観光振興に配慮した基盤整備
 - ・景観に配慮した道路整備の推進・河川空間の利用者に配慮した河川整備の推進・食のブランド力向上のための、農漁村環境・景観に配慮した生産基盤整備の推進
 - ・移動を含めて楽しむドライブ観光やサイクルツーリズム、河川空間やインフラを活用したツーリズム、自然体験等を含むアドベンチャートラベル等、地域資源を活用した観光振興に向けた環境の創出
 - ・広域観光周遊ルート形成に向けた観光地点間の連携強化と外国人観光客の文化習慣に配慮した受入環境や観光案内の充実・無電柱化、交通安全対策の推進
 - ・外国人客4,000万人時代に向けたインフラ整備
 - ・人が集まる魅力的な場となる複合交流拠点づくりの推進
- 住民と連携した観光振興
 - ・シーニックバイウェイ活動団体と連携した美しい景観づくり、魅力ある観光空間づくりの促進
 - ・地域の価値創造力を高める多様な人材の広域的・横断的な支援・協働体制として、地域パートナーシップ活動を展開
 - ・水産業と観光の連携など水産業を核とした地域振興方針であるマリナビジョンの推進
 - ・地域住民とともに、みなとを活用した交流拠点を形成し、地域の賑わい創出を図る北海道みなとオアシスの促進
 - ・地域の景観、交流など地域住民主体の地域活性化活動を支援する「わが村は美しくー北海道」の推進
 - ・まちづくりと一体となった魅力ある水辺空間の創出及び「かわたびほっかいどう」プロジェクトの推進

令和7年度（5年後）の目標

- 【河川】
 - ・かわまちづくりの推進（天塩川、名寄川地区）
 - ・自然再生事業の推進（天塩川）
 - ・かわたびほっかいどうの推進
- 【道路】
 - ・北海道縦貫自動車道（士別剣淵～名寄）の推進
 - ・旭川十勝道路（富良野北道路）の推進
 - ・国道40号音威子府バイパスの推進（R7全線開通予定）
 - ・国道452号五稜道路の推進
 - ・国道39号比布大橋架替の推進
 - ・国道40号天塩防災の推進（R5部分開通予定）
 - ・国道232号小平防災の推進
 - ・国道232号高砂橋架替の推進（R5全線開通予定）
 - ・国道239号霧立防災の推進（R4部分開通予定）
 - ・国道238号浜猿防災の推進（R4、R6部分開通予定）
 - ・国道40号稚内中央電線共同溝の推進
 - ・国道238号幌別橋架替の推進
 - ・シーニックバイウェイの推進

地域のめざす姿（令和7年の地域の将来像）

- 多様な魅力あふれる観光の振興
- 離島地域の振興

連携地域の主な施策の方向（今後5年程度）

- ・雄大で美しい自然環境や多彩な食などの地域資源を活かした通年・滞在型観光地づくりや広域観光の推進
- ・外国人観光客の受入体制の整備・促進
- ・広域的なスポーツ、アウトドアイベントの開催やスポーツ・音楽合宿の誘致等
- ・これまでの広域連携を踏まえた空港を核とした観光客誘致の推進
- ・領海や排他的経済水域の保全など、国家的な役割を踏まえた離島地域社会の維持
- ・基幹産業である水産業や観光産業の振興
- ・医療体制や交通・情報通信基盤の整備など安全・安心な離島生活の確保

令和3年度の具体的な施策内容

- 【河川】
 - ・かわまちづくりの推進（天塩川、名寄川地区）
 - ・自然再生事業の推進（天塩川）
 - ・かわたびほっかいどうの推進
- 【道路】
 - ・北海道縦貫自動車道（士別剣淵～名寄）
 - ・旭川十勝道路（富良野北道路）
 - ・国道40号音威子府バイパス
 - ・国道452号五稜道路
 - ・国道39号比布大橋架替
 - ・国道40号天塩防災
 - ・国道232号小平防災
 - ・国道232号高砂橋架替
 - ・国道239号霧立防災
 - ・国道238号浜猿防災
 - ・国道40号稚内中央電線共同溝
 - ・国道238号幌別橋架替
 - ・シーニックバイウェイの推進
- 【港湾】
 - ・観光地へのアクセス向上に資する航路の整備（留萌港）
 - ・船舶の安全航行を確保し、ゲートウェイ機能を強化する防波堤等の整備（沓形港、香深港）
 - ・「みなとオアシス」の展開等、地域住民との協働による観光振興の取組の推進（稚内港、香深港、鷺泊港、沓形港、留萌港）
 - ・大型クルーズ船の受入環境改善、北防波堤ドーム老朽化対策（稚内港）
 - ・「沓形港クルーズ船見送り隊」の取組の推進（沓形港）
- 【空港】
 - ・空港施設の改良・更新（稚内空港）
- 【漁港】
 - ・マリナビジョンの推進
- 【農業】
 - ・国営農地再編整備事業（富良野盆地地区、上士別地区、東宗谷地区）の推進
 - ・国営緊急農地再編整備事業（北野地区、愛別地区、大雪東川第一地区、旭東東神楽地区、大雪東川第二地区、旭東地区）の推進
 - ・国営総合農地防災事業（産土地区・勇知地区・ポロ沼地区・幌延地区）の推進
 - ・「わが村は美しくー北海道」の推進
- 【共通】
 - ・地域パートナーシップ活動の展開
 - ・インフラツーリズムの推進

- 【港湾】
 - ・観光地へのアクセス向上に資する航路整備の推進（留萌港）
 - ・防波堤整備事業の推進（沓形港）
 - ・大型クルーズ船の受入環境改善、北防波堤ドームの予防保全事業の推進（稚内港）
- 【空港】
 - ・空港施設の改良・更新の完了（R4完了予定）（稚内空港）
- 【農業】
 - ・国営農地再編整備事業（上士別地区、東宗谷地区）の推進
 - ・国営緊急農地再編整備事業（愛別地区、大雪東川第一地区、旭東東神楽地区、大雪東川第二地区、旭東地区）の推進
 - ・国営総合農地防災事業（産土地区、勇知地区、ポロ沼地区、幌延地区）の推進
 - ・「わが村は美しくー北海道」の推進

国家的・広域的な課題

■ 生物の多様性の損失や天然資源の減少、地球温暖化の進展等、地球規模での環境問題が深刻化する中で、道北の豊かな自然環境を国民共通の資産として将来にわたって継承するため、自然共生社会、循環型社会、脱炭素社会の構築に向けた取組を総合的に進め、持続可能な地域社会の構築を図る必要があります。2050年カーボンニュートラル（ゼロカーボン北海道）の実現に向け、道北地域に豊富に賦存する風力、地熱を始め、バイオマス、水力、太陽光等の再生可能エネルギーの導入等、温室効果ガス排出削減対策等に取り組む必要があります。また、我が国の気候変動対策及びエネルギー安全保障強化の観点から、このような低炭素で多様な国産エネルギー源のポテンシャルを最大限に活用する必要があります。

地域のめざす姿（令和7年の地域の将来像）

■ 豊かな自然環境と調和した、安全・安心な地域づくり

連携地域の主な施策の方向（今後5年程度）

- ・脱炭素型の地域づくりの実現に向け、自然特性を活かした風力、太陽光、雪氷、地熱、木質バイオマスなどを活用した新エネルギーなどの導入や普及を推進
- ・野生鳥獣の適正な保護管理・利活用のための取組の推進

プロジェクトの概要

サロベツ原野に代表される地域の自然環境の保全に配慮し、農地、河川、湖沼、海域が保全する環境保全機能の維持回復を図ることで、豊かな生態系との共生や循環型社会の形成、脱炭素社会や2050年カーボンニュートラル（ゼロカーボン北海道）の実現に向けた取組を推進します。また、風力を始めとする豊富な再生可能エネルギー源を活用して、エネルギーの地産地消を進めるなど北のエネルギー拠点を目指します。

主な取組

- 河川周辺の環境の保全
 - ・河川・ダム湖等の水辺周辺の緑の保全を図るとともに、多様な生物種の生息・生育環境の確保を図るため多自然川づくりを推進します。
 - ・多様な動植物の生息環境を確保するため、汽水環境の再生を図ります。
 - ・河川を身近な自然体験の場として活用するため、良好な水辺環境を整備します。
- 北海道遺産である天塩川における環境整備の推進
 - ・魚類の連続性確保（魚類等の移動の連続性確保に向けた調査・検討）
 - ・下流汽水域の環境保全整備
 - ・旧川（河川改修等により水が流れていない昔の河道）の環境整備
- 環境に配慮した整備の促進
 - ・水生生物の生息環境に配慮した構造の防波堤などの整備を図ります。
 - ・水路の自然護岸化、魚道の設置など生物の移動経路を確保した農業用排水施設の整備を図ります。
 - ・動植物の生息環境に配慮した道路整備を図ります。
 - ・河川の水質に配慮した排水施設の整備を図ります。
- 農業とサロベツ湿原の共生に向けた整備
 - ・農業と湿原の共生に向けた関係機関との連携をもとに、緩衝帯や沈砂池を設置します。
- 環境負荷の少ないエネルギー需給構造の実現
 - ・再生可能エネルギーの導入や地域分散型エネルギーシステムの導入の促進。

令和3年度の具体的な施策内容

- 【河川】
 - ・魚類等の生息・産卵環境の復元に配慮した河床洗掘対策（石狩川上流 南永山地区）の推進
 - ・水際の多様化に配慮した河道掘削と河岸保護（石狩川上流辺別川地区、天塩川上流美深地区）の推進
 - ・サンルダム湖周辺環境保全の推進
 - ・魚類等の移動の連続性確保に向けた調査・検討の推進（天塩川流域）
 - ・魚類等の生息環境の保全・改善、魚類の移動の連続性確保
 - ・まちづくりと一体となった水辺整備を推進（天塩川）
 - ・汽水環境の整備（天塩川）
 - ・魚類等の移動の連続性及び生息環境の保全（天塩川）
- 【道路】
 - ・国道40号天塩防災
 - ・国道238号浜猿防災
- 【農業】
 - ・国営かんがい排水事業（当麻永山用水地区（小水力発電））
 - ・天塩川の水質に配慮した暗渠排水疎水材（石灰石）を使用した整備（産土地区）

令和7年度（5年後）の目標

- 【河川】
 - ・魚類等の生息・産卵環境の復元に配慮した河床洗掘対策（石狩川上流 南永山地区）の推進
 - ・水際の多様化に配慮した河道掘削と河岸保護（石狩川上流、天塩川上流）の推進
 - ・サンルダム湖周辺環境保全の推進
 - ・魚類等の移動の連続性確保に向けた調査・検討の推進（天塩川流域）
 - ・天塩川中上流地区における自然再生事業の推進
 - ・魚類等の移動の連続性及び生息環境の保全の推進（天塩川）
 - ・まちづくりと一体となった水辺整備の推進（天塩川）
 - ・汽水域等の環境整備の推進（天塩川）

- 【道路】
 - ・国道40号天塩防災の推進（R5部分開通予定）
 - ・国道238号浜猿防災の推進（R4、R6部分開通予定）

- 【農業】
 - ・国営かんがい排水事業（当麻永山用水地区（小水力発電））
 - ・国営総合農地防災事業（産土地区）の推進

国家的・広域的な課題

■ 近年、降雨の局地化・集中化・激甚化や異例の降雪が発生し、風水害や土砂災害等が多発しています。今後も気候変動に伴う災害に耐えうる重要インフラ等の機能維持、激甚化・頻発化する災害等対応を進める必要があります。道北地域は海岸線や山間に集落が形成され、唯一の幹線道路に依存し、地域の生産活動が行われています。安全安心の確保は、国民生活や経済社会の安定を図るための前提条件であり、オホーツク海や日本海沿岸部の防災対策のほか、石狩川、天塩川、留萌川等の治水対策、十勝岳の火山泥流対策、津波や地震、冬期複合災害等への対策、厳冬期避難体制の拡充、冬期交通の安全性の確保、港湾や漁港等における波浪対策等の防災・減災対策、国土強靱化施策を推進し集中的に老朽化対策を実施する必要があります。一方、道北地域は、首都圏の大都市から遠距離にあり、大規模災害発生時において同時に被災する可能性が少ないので、国家的規模の災害時に後方支援等のバックアップ機能を発揮し、我が国全体に貢献することが必要です。

プロジェクトの概要

道北地域では、近年、特に石狩川や留萌川、天塩川等の洪水被害や、地震・津波による被害、大雨や冬期間の地吹雪等の影響による通行止めが発生しています。今後も気候変動により、災害が更に頻発、激甚化することが懸念されており、洪水・地震・津波・火山対策、土砂災害や冬期複合災害等に備えるハード、ソフト一体となった防災・減災、国土強靱化対策を加速化し、重点的かつ集中的に対策を講じることにより、多様な主体と連携した地域防災力の高い安全・安心な地域づくりを目指します。

主な取組

- 石狩川・留萌川及び天塩川の洪水に対する安全性向上
 - ・近年被災した河川における再度災害を防止する対策等の推進
 - ・「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく取組の推進
 - ・水害等から人命と財産を守る河川改修、ダム等の整備促進
 - ・災害時における水防活動や災害復旧のための拠点の整備
 - ・農業用ダムや頭首工改修等による農地の洪水災害の未然防止
 - ・流域のあらゆる関係者が協働して行う「流域治水プロジェクト」の推進
- 地震、津波等に対する安全性向上
 - ・法面对策、耐震補強、豪雨対策、越波対策、予防保全事業等による安全快適な道づくりの推進
 - ・船舶を波浪から守る防波堤などの外郭施設の整備 ・道路の防災、老朽化対策、無電柱化、代替性確保のための道路ネットワーク整備の推進
- 土砂災害に対する安全性向上
 - ・十勝岳の火山泥流対策として、砂防施設の整備促進
 - ・土石流から下流域の安全度を向上させるための砂防事業の推進
- 地吹雪対策などによる冬期交通の安全性等向上
 - ・冬期間の猛烈な地吹雪などによる通行止め解消や交通事故防止のため、効率的な除排雪の実施や、雪崩防止施設、防雪林等の整備
 - ・冬期間における稚内空港の信頼性向上に資する就航率改善対策
- 地域防災力向上の取組推進
 - ・迅速かつ円滑な災害対応に向けた防災関係機関の連携強化
 - ・空知川幾寅地区における水位周知河川等への指定、浸水想定区域図の公表、避難勧告等発令に着目したタイムラインの作成など、住民避難を促すためのソフト対策を推進
 - ・ハザードマップ作成・普及支援や講習会実施等地方公共団体の防災力向上推進
 - ・防災教育・指導者養成支援や防災訓練実施等地域との協働による減災・防災対策の取組
 - ・十勝岳の観測監視体制の充実 ・防災関係機関が連携した災害対策を支援するための防災情報共有化推進
 - ・サハリプロジェクト関連等の油流出事故に対応し、北海道北部沿岸域における油防除対策機能の検討
 - ・「道の駅」の防災機能強化の推進
- 災害時の支援体制の充実
 - ・現地情報連絡員（リエゾン）、緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）、水土里（みどり）災害派遣隊等の派遣、除雪機械や災害対策用資機材の貸与等、きめ細やかな地域支援やバックアップ体制の強化

地域のめざす姿（令和7年の地域の将来像）

■ 豊かな自然環境と調和した、安全・安心な地域づくり

連携地域の主な施策の方向（今後5年程度）

- ・地域医療と保健・福祉の充実、少子化対策に向けた取組の推進
- ・感染症に強い地域を目指し、必要な検査及び医療を迅速かつ適切に提供するなど、安全・安心な社会経済活動に向けた取組の推進
- ・災害に強いインフラの整備と防災・減災体制の充実・強化
- ・コンパクトなまちづくりや高齢者が暮らしやすい環境づくりの推進
- ・地域を支える多様な人材の育成・確保と移住・定住の促進やワーケーションの推進など関係人口の創出・拡大に向けた取組の推進

令和3年度の具体的な施策内容

- 【河川】
 - ・石狩川上流河川改修事業の促進（河床洗掘対策（南永山地区）、辺別川堤防整備、支川の合流点整備（近文地区） ・火山砂防事業（美瑛川堰堤部掘削）の推進
 - ・水系砂防事業（層雲峡地区遊砂地工、白川砂防堰堤）の推進
 - ・天塩川上流河川改修事業の促進（河道掘削及び堤防整備（美深地区）
 - ・治水安全度向上のための河川改修（堤防整備、法尻補強、天端保護、樹木伐採、導流堤改築等）（天塩川下流・留萌川）
 - ・水防連絡協議会の開催（天塩川・留萌川） ・減災対策協議会の開催（天塩川・留萌川）
 - ・水防技術講習会の実施（天塩川・留萌川）
- 【道路】
 - ・北海道縦貫自動車道（土別剣淵～名寄） ・国道40号音威子府バイパス
 - ・旭川十勝道路（富良野北道路） ・国道39号比布大橋架替
 - ・国道232号小平防災 ・国道40号天塩防災 ・国道232号高砂橋架替
 - ・国道239号霧立防災
 - ・国道238号浜猿防災 ・国道40号稚内中央電線共同溝 ・国道238号幌別橋架替
 - ・地方道路防災連絡協議会の開催
- 【港湾】
 - ・港湾物流の効率化及び安全性向上のための防波堤・物揚場・岸壁等の整備（留萌港・増毛港・羽幌港・天塩港・稚内港・宗谷港・枝幸港・鷺泊港・杓形港・香深港）
 - ・大規模排出油事故対策訓練の実施（稚内港）
- 【漁港】
 - ・漁船航行の安全性向上のための防波堤等の整備（苫前漁港・遠別漁港・抜海漁港・礼文西漁港・仙法志漁港）
- 【農業】
 - ・国営総合農地防災事業（機能低下が生じた 農業用排水路及び農用地の機能回復）（産土地区・勇知地区・ポロ沼地区・幌延地区）
- 【共通】
 - ・災害時における現地情報連絡員（リエゾン）、緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）、水土里（みどり）災害派遣隊等の派遣、除雪機械や災害対策用資機材の貸与等

令和7年度（5年後）の目標

- 【河川】
 - ・石狩川上流河川改修事業の促進（河床洗掘対策（南永山地区）
 - ・火山砂防事業（美瑛川堰堤部掘削）の推進 ・水系砂防事業（層雲峡地区遊砂地工、白川砂防堰堤）の推進
 - ・天塩川上流河川改修事業の促進（河道掘削及び堤防整備（美深地区））
 - ・天塩川下流での河川改修（河道掘削、樹木伐採、築堤、天端保護）の推進
 - ・留萌川での河川改修（河道掘削、導流堤改築、排水機場耐水化、法尻補強、築堤）の推進
- 【道路】
 - ・北海道縦貫自動車道（土別剣淵～名寄）の推進 ・旭川十勝道路（富良野北道路）の推進 ・国道40号音威子府バイパスの推進（R7全線開通予定） ・国道39号比布大橋架替の推進 ・国道40号天塩防災の推進（R5部分開通予定） ・国道231号小平防災の推進
 - ・国道232号高砂橋架替の推進（R5全線開通予定） ・国道239号霧立防災の推進（R4部分開通予定）
 - ・国道238号浜猿防災の推進（R4、R6部分開通予定） ・国道40号稚内中央電線共同溝の推進 ・国道238号幌別橋架替の推進
- 【港湾】
 - ・港湾物流の効率化及び安全性向上のための防波堤等の整備の推進（留萌港、増毛港（小型船だまり整備はR3完了）、羽幌港、天塩港、稚内港・香深港・杓形港）
- 【漁港】
 - ・漁船航行の安全性向上のための防波堤等の整備の推進（遠別漁港・苫前漁港・雄冬漁港・抜海漁港（R4完了予定）・礼文西漁港）
- 【農業】
 - ・国営総合農地防災事業（産土地区・ポロ沼地区・勇知地区・幌延地区）の推進

国家的・広域的な課題

■道北地域は、広大で離島も有しており、医療過疎・医療格差が更に拡大しています。第1次産業を支え、観光資源を提供する生産空間の維持を図り、地域で安心して生活し、生産活動に従事していけるような、医療サービスを受けられる環境（高速・バイパス網の整備、ドクターカー、ドクターヘリ、メディカルジェット、遠隔画像診断ネットワーク）を整備し、また、感染症等の危機に強い社会経済システムを構築する必要があります。

■道北地域は、南北に広がっており、生産空間を維持するため、交通ネットワークを強化し、圏域内で必要な医療を受けられる体制を整える必要があります。また、旭川空港や稚内空港、留萌港や稚内港などの交通拠点を整備し、連結することによりインバウンドを含めた観光客の増大、自給率が高く品質の良い農林水産品の輸出や高付加価値化を図る必要があります。同時に災害時の緊急避難ルートを確認するために高規格道路等のミッシングリンクを解消するなど交通ネットワークを早期に整備する必要があります。地域交通の課題に応じた人流・物流システムの構築、片荷の解消に向けた物流の改善、保管倉庫の整備、地方部の交通課題の解決が必要です。JR北海道が厳しい経営状況の下で、列車の減便や駅の廃止を進めており、今後の人々の生活や経済を支える鉄道の維持、地域の公共交通の確保・持続可能性が課題となっています。

地域のめざす姿（令和7年の地域の将来像）

■生活や産業を支える交通・情報ネットワークの形成

連携地域の主な施策の方向（今後5年程度）

・地域の生活と産業を支える交通ネットワークの維持・確保及び充実、高度情報通信網の整備

プロジェクトの概要

広域分散型社会を形成する道北地域は、南北に広がっており、高規格道路等のミッシングリンクを解消するなど高次医療を始めとする高次都市機能が集中する旭川と他の地域とのアクセス機能を強化します。また、地域の多様な主体が、隣接する道央地域を始めとする内外の諸地域と交流し、多様な連携・協働を推進するために必要な交通ネットワークの整備を図ります。ポストコロナを見据え、地域産業の更なる育成や工場建設・企業立地の促進など地域のポテンシャルを十分発揮させるため、基盤整備を含めた物流機能の強化を推進します。

主な取組

- 交通ネットワークの強化
 - ・旭川と他の地域とのアクセス強化を図るため、高規格道路を始めとする基幹的なネットワークの整備を推進します。
 - ・道央地域と連絡する高速交通ネットワークの整備を推進します。
 - ・多様な連携を推進するため、交流拠点である港湾や空港の整備を推進します。
- 物流ネットワークの強化
 - ・地域の産業や生活を支えるため、港湾の物流機能の強化、効率化を推進します。
 - ・港湾、空港や物流拠点・生産拠点と高規格道路とのアクセスを強化します。
 - ・物流システム構築に向けた取組を推進します（名寄周辺モデル地域）。
- 広域分散型社会に対応した地域交通の形成
 - ・渋滞解消に向けた道路整備など都心部へのアクセスの改善を推進します。
 - ・救急医療機関へのアクセス時間を短縮する道路整備を推進します。

令和3年度の具体的な施策内容

【道路】

- ・北海道縦貫自動車道（土別剣淵～名寄）・旭川十勝道路（富良野北道路）・国道40号音威子府バイパス
- ・国道452号五稜道路・国道40号天塩防災・国道232号小平防災・国道232号高砂橋架替
- ・国道239号霧立防災・国道238号浜猿防災・国道40号稚内中央電線共同溝・国道238号幌別橋架替
- ・「道の駅」を活用した物流効率化の取組

【港湾】

- ・港湾物流の効率化及び安全性向上のための防波堤・物揚場・岸壁等の整備（留萌港・増毛港・天塩港）
- ・水産物流の効率化のための小型船だまりの整備（羽幌港）
- ・港湾物流の円滑化、港内静穏度の確保等、港湾の効率的な利用を図るための物揚場、岸壁、防波堤等の整備（宗谷港、枝幸港、鷺泊港、杓形港、香深港）

【空港】

- ・排水機能強化による浸水対策（稚内空港）

令和7年度（5年後）の目標

【道路】

- ・北海道縦貫自動車道（土別剣淵～名寄）の推進
- ・旭川十勝道路（富良野北道路）の推進
- ・国道40号音威子府バイパスの推進（R7全線開通予定）
- ・国道452号五稜道路の推進
- ・国道40号天塩防災の推進（R5部分開通予定）
- ・国道232号小平防災の推進
- ・国道232号高砂橋架替の推進（R5全線開通予定）
- ・国道239号霧立防災の推進（R4部分開通予定）
- ・国道238号浜猿防災の推進（R4、R6部分開通予定）
- ・国道40号稚内中央電線共同溝の推進
- ・国道238号幌別橋架替の推進
- ・「道の駅」を活用した物流効率化の取組の推進

【港湾】

- ・港湾物流の効率化及び安全性向上のための防波堤等の整備の推進（留萌港、増毛港（小型船だまり整備はR3完了）、天塩港）
- ・小型船溜まり整備の推進（羽幌港）
- ・岸壁老朽化対策事業の推進（稚内港）
- ・物揚場整備事業の推進（宗谷港）
- ・防波堤老朽化対策事業の推進（鷺泊港）
- ・岸壁老朽化対策事業の推進（杓形港）
- ・防波堤整備事業の推進（香深港）
- ・防波堤及び物揚場老朽化対策事業の推進（枝幸港）

【空港】

- ・空港施設の改良・更新の完了（R4完了予定）（稚内空港）